

質量分析インフォマティクス研究会
第4回ワークショップ（2019年）

データ科学が拡大する質量分析の地平線

開催日時 **2019年3月19日** 火 10時30分～18時30分

開催場所 **JST 東京本部別館（K's五番町ビル）1階ホール**

東京都千代田区五番町7 K's五番町

最寄り駅：市ヶ谷駅（JR中央本線／東京地下鉄（東京メトロ）有楽町線／都営地下鉄新宿線）

※JST 東京本部本館（サイエンスプラザ）とは異なりますのでご注意ください

参加費 **無料**（要・事前参加登録）

招待講演

（50音順・敬称略）

【糖鎖プロテオミクス】小川 光貴・岡島徹也（名古屋大・医）

「糖鎖プロテオミクスにより明らかになった Notch1 受容体上の O-GlcNAc glycan の糖鎖構造多様性」

【ChIP-Seq】沖 真弥（九州大・医）

「公共 ChIP-seq データをフル活用し、遺伝性疾患の解明や創薬に挑む」

【ケモインフォマティクス】小寺 正明（東京大・工）

「複雑骨格物質の生合成単位予測」

【代謝工学】野田 修平（理研・CSRS）

「有用バルクケミカル合成大腸菌プラットフォーム開発における質量分析機器の活用」

【メタボロミクス】福島 敦史（理研・CSRS）

「質量分析を用いた植物メタボロミクスデータの情報解析と共有」

【プロテオミクス】吉崎 尚良（金沢医科大・医）

「公共データベースを利用したリン酸化シグナル伝達経路の研究」

参加登録 <http://ms-bio.info/2019ws.html>



主催：質量分析インフォマティクス研究会（日本バイオインフォマティクス学会（JSBi））



協賛：JST/NBDC 統合化推進プログラム「エピゲノミクス統合データベースの開発と機能拡充」（<https://chip-atlas.org/>）